



日産緑化株式会社

COMPANY PROFILE

会社概要 Outline

設立	1962年	
資本金	1億円	
所在地	[本社] 東京都千代田区内神田三丁目16番9号 03-3256-4031 [支店] 東京支店 東京都北区浮間2-12-24 03-5916-5900 多摩支店 東京都八王子市高倉町5-8 042-644-1101 千葉支店 千葉県千葉市中央区村田町793-3 043-305-0011 埼玉支店 埼玉県加須市南篠崎1-11-3 048-067-3001 名古屋支店 愛知県名古屋市名東区貴船1-29-1 052-702-2231 大阪支店 大阪府堺市北区大豆塚町2-9-2 072-258-8444 福岡オフィス 福岡県糸島市富214-10 092-332-8349	
代表者	代表取締役 小林 知久	
許可・登録・届	建設業許可：国土交通大臣許可（特一27）第4408号 造園工事業、土木工事業、とび・土工工事業、 石工事業、舗装工事業、塗装工事業、水道施設工事業 産業廃棄物収集運搬業許可（積替え保管を除く）（東京都、埼玉県、神奈川県、大阪府） ● 品質マネジメントシステム ISO9001：2015 [本社、支店（東京、多摩、千葉、埼玉、名古屋、大阪）] (登録範囲) 造園工事及び緑化工事の設計・施工並びに付帯サービス（植栽の点検）、 土木工事（河川、道路、建築外構）の施工 ● 環境マネジメントシステム ISO14001：2004 [本社、支店（東京、多摩、千葉、埼玉、名古屋、大阪）] (登録範囲) 造園工事及び緑化工事の設計・施工並びに付帯サービス（植栽の点検）、 土木工事（河川、道路、建築外構）の施工、 及び当社所在地において発生する環境側面 毒劇物一般販売業登録 農薬・肥料販売業届	
グループ会社	日産化学株式会社 日星産業株式会社 日産物流株式会社 日産エンジニアリング株式会社 株式会社環境技術研究所 サンアグロ株式会社 日本肥糧株式会社 日本燐酸株式会社	
加入団体	一般社団法人 日本造園建設業協会 一般社団法人 東京都造園緑化業協会 一般財団法人 日本造園修景協会 公益社団法人 日本造園学会 公益財団法人 高速道路調査会 公益社団法人 緑の安全推進協会 公益社団法人 日本家庭園芸普及協会	

私たちは、地球温暖化防止、生物多様性、生活クオリティの向上、災害防止対策等など
緑化事業を通じて社会的責任を果たしてまいります。

暮らしに緑を 緑溢れる エコ社会



日産緑化の4つの事業

当社は総合緑化サービス会社です。

長年の経験、実績、高い技術により広範囲な緑化事業を通じて皆様のニーズにお応えします。



造園土木工事

公園、集合住宅、戸建住宅、教育・文化・医療・スポーツ施設、商業・オフィスビル、工場、研究所などの緑地・庭園・エクステリア等の造成、都市のヒートアイランド、二酸化炭素削減に対応する屋上緑化、壁面緑化、ビオトープなどなんなりとご相談ご用命ください。



緑地維持管理等

公園、河川、道路、鉄道、工場、変電所、太陽光発電所、タンクヤード、研究所、学校、住宅などの庭園、芝生等の緑地、植栽を除草、剪定、伐採、撤去、樹木診断、病虫害防除など総合的な緑地維持管理をしております。また各所の緑地維持管理箇所において、緑のコーディネーターとして地域貢献活動を行っております。



薬剤散布・防除

草刈機や除草機は飛石などの危険が伴い、刈草の処分も大変です。「ラウンドアップ® マックスロード」などの除草剤を使用すればより安全で省力的です。コストダウンが必要な太陽光発電所では、除草剤の使用が適切です。街路樹のアメリカシロヒトリや松のマツノマダラカミキリの防除は樹幹注入型の殺虫剤を使用すれば、薬剤の飛散が少なくより安全です。



薬剤・資材販売

「ラウンドアップ® マックスロード」をはじめ各種の緑地管理向けの農薬（除草剤、殺虫剤、殺菌剤、植物成長調整剤）、肥料等を販売しております。「緑の安全管理士」など専門知識をもったスペシャリストが、「適剤・適期・適量」のアドバイスをさせていただきます。

技術スタッフ

当社は多彩な技術者、専門家が各種の緑化事業を遂行しています。

- 造園施工管理技士
- 建設業経理士
- 街路樹剪定士
- 植栽基盤診断士
- 毒物劇物取扱責任者
- 土木施工管理技士
- 樹木医
- 街路樹診断士
- 公園管理運営士
- その他

日産緑化の歩み

当社は、1962年（昭和37年）、日産農業サービスとして日産化学の農業を非農耕地分野に普及・拡販することが事業目的で100%子会社として設立されました。当初の薬剤散布中心の業態から緑化部門への進出に伴い1970年社名を現在の日産緑化に改称いたしました。2012年（平成24年）50周年を迎え総合緑化サービスを主体とした事業展開で現在に至っております。

沿革 History

1962年（昭和37年）	3月	農業を鉄道、道路、工場敷地等、非農耕地に普及するため、資本金300万円にて日産化学株式会社の子会社として設立。株式会社日産農業サービスと称する。
	7月	名古屋市に名古屋営業所を開設。
	9月	大阪市に大阪営業所を開設。
1963年（昭和38年）	4月	福岡市に福岡営業所を開設。
1966年（昭和41年）	9月	造園業に進出。
1968年（昭和43年）	3月	八王子市に八王子営業所を開設。
1969年（昭和44年）	1月	堺市に堺営業所を開設。
	3月	市原市に千葉事務所を開設。
1970年（昭和45年）	1月	社名を日産緑化株式会社と改称。総合緑化事業を展開。
1972年（昭和47年）	1月	千葉事務所を千葉営業所に昇格。小山市に小山事務所を開設。
1973年（昭和48年）	1月	大阪営業所を大阪支店に昇格。小山事務所を小山営業所に昇格。
1974年（昭和49年）	1月	名古屋営業所を名古屋支店に昇格。三重営業所を開設。
1975年（昭和50年）	10月	小山事務所と蕨営業所を統合し、久喜市に関東北営業所を開設。
1977年（昭和52年）	4月	富山県婦中町に富山営業所を開設。
1980年（昭和55年）	4月	ON工法展開。
1984年（昭和59年）	4月	関東北営業所を久喜営業所と名称変更。
1991年（平成3年）	4月	久喜市にゴルフ場メンテナンス営業所（GM営業所）を開設。
1992年（平成4年）	2月	東京都に東京営業所を開設。
1994年（平成6年）	12月	ON工法撤退。
1995年（平成7年）	7月	久喜営業所を埼玉営業所に名称変更。
1998年（平成10年）	5月	東京営業所、八王子営業所、千葉営業所、埼玉営業所、福岡営業所をそれぞれ東京支店、多摩支店、千葉支店、埼玉支店、福岡支店に昇格。
2001年（平成13年）	3月	ゴルフ場メンテナンス営業所（GM営業所）撤退。
2002年（平成14年）	1月	(株)イー・ジー・エス設立。
	3月	アグリテック大野城設立。
	8月	ISO9001認証取得。
2009年（平成21年）	4月	福岡支店閉鎖。
2010年（平成22年）	3月	アグリテック大野城解散。
	9月	三重営業所閉鎖。
2012年（平成24年）	3月	ISO14000認証取得。
2013年（平成25年）	3月	(株)イー・ジー・エス解散。
2014年（平成26年）	5月	埼玉支店を加須市に移転。
2015年（平成27年）	4月	大阪支店が堺営業所と統合し大阪支店に改称。
	10月	(株)環境技術研究所を子会社化。福岡オフィス開設。
	11月	大阪支店を堺市に移転。